



知基第204号  
令和元年12月20日

在沖米国総領事  
ロバート・ケプキー 殿

沖縄県知事 玉城 デニー



### 金武町における米軍照明弾の落下事故について（抗議）

令和元年12月5日午後、キャンプ・ハンセンから、隣接する金武町伊芸区の農地等に米軍の照明弾が3個落下する事故が発生しました。

照明弾が落下した場所は、直近の民家までは約50メートルしか離れていないほか、周辺には沖縄自動車道の高架や高圧線鉄塔があり、一歩間違えば、県民の生命・財産に被害を及ぼす重大な事故につながりかねず、極めて遺憾であります。

キャンプ・ハンセンにおいては、これまで実弾射撃訓練に伴う原野火災が度々発生しているほか、施設外への被弾、吊り下げ訓練中に物資が落下する事故等が発生しており、日常的に米軍基地と隣り合わせの生活を余儀なくされている県民に大きな不安を与えております。

県としては、今回の事故の発生に強く抗議し、事故原因の究明及び実効性のある再発防止策を講じ、その公表を行うとともに、キャンプ・ハンセンにおける周辺地域に影響を及ぼす可能性のある訓練の中止を米軍に申し入れるよう強く要請します。